

平成 22 年 4 月 9 日現在

研究種目：基盤研究 (B)  
研究期間：2007～2010  
課題番号：19402006  
研究課題名(和文) 発展途上国における都市貧困層のコミュニティ形成に関する国際比較研究  
研究課題名(英文) Community Development among the Urban Poor in the Developing Countries  
研究代表者  
瀬地山 角 (SECHIYAMA KAKU)  
東京大学・大学院総合文化研究科・教授  
研究者番号：80250398

研究代表者の専門分野：社会学・ジェンダー論

科研費の分科・細目：

キーワード：発展途上国，都市，社会ネットワーク，慢性的貧困，コミュニティ

### 1. 研究計画の概要

本研究は、様々な初期条件の下にある発展途上国における都市貧困層の居住地区 (locality) が有機的なコミュニティに成長する論理を提示することを目的としている。すなわち、フィリピン、韓国、ベトナム、ウズベキスタン、およびコロンビアの都市貧困層を対象として、長期の参与観察と質問票調査によって収集したデータを用い、社会ネットワーク分析 (social network analysis) の手法を駆使して、地域固有のコミュニティの出現と展開という動態を理解するに足る新しい枠組みを構築することが本研究の目標である。それは、従来の開発経済学では十分に解明することのできなかつた、発展途上国の都市貧困層が形成するコミュニティの実体的理解への到達を意図している。

### 2. 研究の進捗状況

マニラ、ソウル、ホーチミン市、タシケント、ボゴタについて集中的に文献および実態調査を行い、次のような進捗状況にある。

(1) マニラについては、都市貧困層の族内婚によるコミュニティの深化と近接同類婚による周辺地域への社会ネットワークの拡大過程について、連携研究者中西を中心に、包括的な研究が行われた。それは、中西 (2008, 2009) などにまとめられ、さらに、Nakanishi (2009a, 2009b, 2009c) などの国際会議における発表によって、成果が公表されている。

さらに、これらの考察から、フィリピンにおける社会流動性を阻害するメカニズムへの理解も得ることが可能である。この件については、中間的報告である中西 (2010) を発展させるべく、資料解析を進めている。

(2) 研究代表者瀬地山は、韓国とベトナムの国際比較の観点から、研究を進展させてきた。韓国については、『東アジアの家父長制』(1996) を全面的に改訂増補を行い、地域社会における家族の役割にも焦点をあてつつ、英語による公刊の準備を進めており、平成 22 年度中に完成予定である。

また、ベトナムについても、瀬地山を中心に調査を進め、ホーチミン市における貧困地区の社会ネットワークを親族制度の側面から把握するべく、マイクロ・データを収集し、解析を進めている。

(3) タシケントについては、研究協力者樋渡が中心となって、都市のマハッラ共同体の社会関係は重層的に開かれているという重要な事実発見を行った。これは、マハッラの特性と考えられ、西アジア全域の都市共同体を理解する上で大きな意味を有する。この議論については、樋渡 (2008) にまとめられた。その後は社会ネットワークにおける情報の伝播についての調査が行われ、現在、データは集計中である。

(4) コロンビアについては、連携研究者幡谷が中心となり、文献渉猟と現地調査によって、ボゴタの貧困層地区における定点観測と地方都市におけるコミュニティ観察が実施され、幡谷 (2008)、Hataya (2009) などの業績にまとめられた。

### 3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進展している。

(理由)

たしかに、この研究は、国際比較研究であるために、国毎に異なる地域の特性や調査上の制約条件に合わせた柔軟な対応が必要と

なり、画一的データに基づく分析がしばしば困難となった。そのために、とりまとめ作業に遅れが生じているのは事実である。

しかし、この事態は当初から予想されていたことであり、計画には織り込み済みである。時間を要したとはいえ、本研究において収集された一次データは信頼性が高く、その学術的価値は著しく高いものであると自負している。

また、都市住民が利用する社会ネットワークの発展過程から慣習経済の経済発展における役割を理解するための準拠枠の基礎を提示する道筋が立ったことも、本研究の独創性を高めるものと考えられる。

なお、国際比較については、参加者同士の議論を経てきているが、前例のない比較研究であるため、慎重を期し、本年度においてさらに討議を重ねる。

#### 4. 今後の研究の推進方策

最終年度は、以下のような方策にもとづいて、最終とりまとめ作業を行う。

(1) 社会ネットワーク・データが国毎に多岐にわたるため、集約作業を再確認する作業を通じ、統合的枠組みの下で量的データについての値を確定する。

(2) 仮説検証にあたり、利用データに不足や不備が生じたり、定性的な補足データが追加的に必要になったりする場合に、補足調査を実施し、データの厳密性を保持する。

(3) 確定したデータに基づき、速報における仮説検証を再検討し、補正する。

(4) 5カ国の調査結果を総合的にとりまとめるための研究会を集中的に実施し、地域間比較の枠組みを確実なものとする。以上のプロセスを経て、最終報告書とりまとめを行う。報告書は本年度内に英語による報告書出版を目指す。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

(1) 瀬地山角

「家父長制の『型』でみる東アジア」『アジア法学 2008』アジア法学会

(2) 中西徹 (2010)

「フィリピンの『市民社会』と『悪しきサマリア人』」『SGRAレポート』52号 33-41頁

[学会発表](計4件)

(1) Sechiyama, Kaku (2008)

“A Comparative Study on Family and Gender in East Asia: Reproduction, Female Labor and Aged Society,” a paper presented

on International Sociological Association Research Committee on Family Research, September 9-13, 2008, Lisbon.

(2) Nakanishi, Toru (2009a)

“Migration, Poverty and Community Dynamics,” *10th Shared Growth Seminar: Labor Migration and Poverty*, University of Asia and Pacific, May 7, Manila.(招待講演, 内容はStaff Memoとして近刊)

(3) Nakanishi, Toru (2009b)

“Autonomous Community Development Process in Urban Poor Communities Community,” *Seminar: Facilitative Roles in Community Development*, Temple University of Japan, November 26, Tokyo.

(4) Nakanishi, Toru (2009c)

“Education for All and Education for Elites: Education Strategy for the Poor in the Philippine Setting,” FIAT Foundation, December 18, Manila, The Philippines (招待講演).

[図書](計6件)

(1) 中西徹 (2008)

「深化するコミュニティ」(高橋哲哉・山影進編『人間の安全保障』東京大学出版会 174~188頁)

(2) 樋渡雅人 (2008)

『ウズベキスタンの慣習経済—プライベートトランスファーの分析から』東京大学出版会

(3) 幡谷則子・下川雅嗣編 (2008)

『貧困・開発・紛争 グローバル/ローカルの相互作用』(地域立脚型グローバル・スタディーズ叢書第3巻)上智大学出版

(4) 中西徹 (2009)

「マニラ：都市貧困層の社会ネットワーク」, 藤巻正己他編『新・世界地理』, 朝倉書店, 280~294頁.

(5) Hataya, Noriko (2009)

“Community-based Local Development and the Peace Initiative of the PDPMM in Colombia: Resource Mobilization under Extreme Conditions,” in Shigetomi, Shinichi and Kumiko Makino eds., *Protest and Social Movements in the Developing World*, Edward Elgar.

(6) 瀬地山角 (2010)

「結婚の『きしみ』を越えて」『ムーブ叢書 ジェンダー白書 7 KEKKON 女と男の諸事情』明石書店.

[産業財産権]

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

[その他]なし